

令和6年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会受講報告

医学系部門 基礎社会医学班 清水 伸輝

1.はじめに（目的等）

中国・四国地区国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の技術職員相当の職員にある者に対して必要となってきたコミュニケーションスキルや組織マネジメントについての習得、他機関の先進的な取り組みを理解し今後の個々あるいは技術組織においての改善や対策等を講じる際に役立つ知識・知見を身につける為、本研究会を受講した。

2.期間・場所

期間：令和6年8月29日（木）～30日（金）

場所：島根大学松江キャンパス（台風接近によりオンライン開催へ変更）

3.参加者等

受講対象者：技術職員相当の職にある者で、組織マネジメント担当者・組織マネジメント担当予定者
27名

4.研修内容

- 1) セミナー：「キャリア自律推進研修」
～個性を活かし、As is・To Be ギャップを埋める組織づくり～
株式会社インソース 澤田 和美氏
- 2) 講義：「大学におけるDX推進の課題と技術職員の役割」
島根大学 総務部情報推進課長 宮脇 貴子氏
- 3) 事例研究
「島根大学における教室系技術職員組織の状況紹介」
島根大学 技術専門職員 山根 冬彦氏
「技術職員組織と支援業務事例紹介」
松江工業高等専門学校 技術長 川見 昌春氏
- 4) 本研究会終了後、インソース様からのアンケートに回答

5.まとめと感想

今回の研修において「キャリア自律」とは、自身のキャリア形成を組織に委ねるのではなく、自らのキャリアに責任を持ち、主体的にその形成に取り組んでいく事を学んだ。

まずは自身のキャリアを自分のやりたいこと（=Will）、自分ができること（=Can）、組織から求められていること（=Must）の3つの視点で「今の仕事」や「この先の仕事」を捉えることが有用であり、仕事をしていく上で現在、どのような事ができる（持っているのか）、更にステップアップする為に、自分から今後の予定の事も考え、準備や情報の共有を行いながら、率先して担当業務を行い仕事内容の把握はもちろん、依頼された先生方に相談や提案をする事も大切である事。そして現在、どのような状況なのかといった進行具合が理解できることを学び、これがその仕事をしていく上で自分自身の自己理解にもなり、積極的な対話も非常に重要である事を学んだ。

オンライン開催へと変更となり他大学の情報交換を得る機会が出来ず残念ではあったが、今の自分のありたい姿（=キャリア目標）を認識し、今後の業務に活かしていく。